

# 女性が輝く 京都企業



東京でも開催予定の建設ディレクター育成講座

## 京都サンダー株式会社

代表者/新井 恭子  
 住 所/京都市上京区室町通下長者町下ル近衛町33  
 T E L / 075-414-3000  
 事業内容/建設関連ソフトウェアの開発・販売、  
 コンサルティング業務、教育研修  
 従業員/9名(うち女性7名)



新井社長(右)と女性従業員のみなさん。  
 オフィスにはキッチンを整備。スタッフが手作り料理をシェアすることも。

## 女性の新たな職域を創造し 建設業界の未来を拓く

「建設ディレクター」…まだ一般には耳慣れないかもしれないが、建設業界で女性の新たな職域として誕生し、期待を集めている。提唱者は建設業関連向けのソフト開発やICT導入の支援を行う京都サンダー株式会社。新井恭子社長は、「建設業界に精通するうちに、さまざまな課題が見えてきました」と語る。そのひとつが現場担当者の書類業務の多さだった。「届出書類作成などの業務を社内の事務担当の女性に委ねることが難しく、現場から会社に戻ってから自分でやるしかない。それが長時間労働にもつながっていました。しかし内勤の女性にもスキルさえあれば、それらを一手に引き受け、リアルタイムで現場をサポートすることが可能だと思ったのです」。4年前から建設業界の課題解決に取り組む「建設未来京都フォーラム」を自ら主宰してきた新井社長は、並行して「女性が輝ける建設業界」をテーマに実際に働く人々の意識や実態を調査。女性が能力を発揮しながら長く働ける職域創出の可能性を探り、その実現を目指した。そして施工支援、経営支援の双方から建設現場をサポートするのに必要な知識やノウハウ、コミュニケーション力をプログラム化。現在、建設業界をあげて進められているIT化と両輪となって、現場

の生産性向上に貢献する「建設ディレクター」という職域を開発した。

昨年1月から、全10日・60時間の「建設ディレクター育成講座」を京都でスタートし、すでに3期が終了。これまで男性を含む48名が受講を終了し、さっそく業務改革に着手した企業も多いという。この夏には4期に続いて初の東京会場での開講も決定している。3年後には年間1000人の育成を目標にしており、普及とともにフォロー体制も強化し、民間資格としての定着も視野に入れているとのこと。その浸透は建設業界での女性躍進に直結し、イメージアップからの好循環にもつながるだろう。

京都サンダー自体、女性社員が大半を占める会社。7年前に社業を引き継いだ新井社長が舵を取り、介護や育児中のスタッフを対象とした在宅勤務制度を導入するなど、誰もがいきいきと働ける環境がごく自然な形で整ってきた。「女性ならではの柔軟な発想やきめ細かな対応は、わが社の持ち味です。これからもそれが活かせるよう、ライフスタイルに応じた働き方を実践できる会社でありたいと思っています」と新井社長のチャレンジは続く。

建設業界では少数派の女性たち。だからこそ生まれた発想が、しなやかに新たな扉を開いていく。